

子の権現・竹寺 ハイキング

2007年2月16日(金)「子の権現・竹寺ハイキング」に出かけました。場所は奥武蔵、西武秩父線の吾野駅から歩き始めます。狭い舗装路をのんびり歩くこと約1時間、ようやく山道に入りしばらく登ると“子の権現”に到着しました。ここには、1998年10月「伊豆ヶ岳ハイキング」で訪れたことがあります。正丸駅(9時) 伊豆ヶ岳 子の権現 西吾野駅(17時)でした。ここ数年のハイキングの2回分を1日で歩いている感じです。弁当持参でしたが、冷たい北風に負け、茶店から出ている暖かい湯気の誘惑に負け、座敷に上がり込んでうどんやそばを食べることに。

子の権現から竹寺までは、約1時間の山歩きでしたが、身体はこれでも大満足？竹寺からバス停までの40分の山の下りが堪えます。

バスの中で一杯と思っていると、バス停に向かってくる小学生の集団。“まさか乗らないよな？”ところが、停留所にしっかり並びます。その数30名くらい。さすがに一杯というわけにはいかず、小学生との会話で楽しみました。



桜井利子さんの思い出

8時45分、JR八王子駅横浜線ホームに集まったのは、小野勝彦さん、加藤忠さん、宮部忠和さん、板垣実さん、加々井悦朗さん、町田行弘の6名でした。ホームでいったい誰が来るのかな？なんて待っていると桜井利子さんが現れそうな気がします。が、桜井さんは、1月18日膵臓癌のため亡くなりました。昨年8月20日の「秩父御岳山ハイキング」では、とても元気だったのですが…。11月16日桜井さんの息子の秀樹さんから“体調を崩し入院しました。今後ハイキングには参加できない”とメールが届きました。11月21日のメールでは、“病名は末期の膵臓癌”そして、余命を自由に過ごすということで退院したようですが、12月5日“再入院しました”というメール。そして、1月20日に亡くなったことを報されました。1992年7月にティップネス町田店がオープンし、1年後の1周年パーティで桜井さんと町田は、年間最多利用者として表彰されました。でも、この頃はお互い顔を見たことがある程度。その頃、町田はティップネス近くのスポーツシューズのお店で働いていました。そして、ティップネスのホノルルマラソンツアー参加者がそのためのシューズの相談にいらしたことを機に知り合いが増えます。

1995年のティップネスの忘年会でランニングのサークルを作ろうという話がもちあがりしました。ランニングだけのサークルでは、いわゆる走友会のようにイヤでしたから、WALK TREK RUNを中心に好きなことで遊ぶ柵のないCLUBを作ろうと考えました。1996年1月にそんな仲間と新年会を企画して、“WTR CLUB”が生まれました。

その年の2月「大山三峰山ハイキング」に桜井さんが参加しました。山登りなんて生まれて初めてということで、下りでは恐くて立ちすくんでしまうほど。ところが、それが見事にハマリ、知らぬ間に各地の名だたる山々を制覇してしまうのです。驚きました。山で死ぬなら本望、骨は山に散骨してほしいというくらいでした。残念ながらそうはなりませんでしたが…。ご冥福をお祈り致します。



手打ちうどんは冬季休業中

八高線に乗り東飯能駅で西武秩父線に乗り換えて吾野駅で降ります。ハイキングコースとしては、ここから子の権現に向かうよりも、西吾野駅からのほうがポピュラーなのでしょうか？子の権現への標識を見つけるまでちょっと戸惑ってしまいました。山へ向かうように見える道は、石灰岩採石場への鉱山専用道路なのです。西武建材株式会社への道と分かれて国道299号線に近づくように見える道が、西武線を橋で渡り線路に沿って伸びています。



まもなく芳延橋、左へ曲がります。沢を左に見ながら、車1台が通行できるくらいの道幅の舗装路を緩やかに登って行きます。単なる林道のように見える道なのですが、昔ながらの民家があり、子の権現へ続くのですから、参道であり古からの集落の生活道路のようです。芳延橋から約30分で滝不動に着きます。滝といっても落差数メートルでこれが滝？という感じでした。



滝不動から数百メートルで浅見茶屋という手打ちうどんの店があり、軽く何か食べてもいいなと思っていたのですが、1月2月は冬季休業中で土日のみの営業ということ。そうだ、今日は平日だったんだ。ガッカリ！浅見茶屋から5分、舗装路が終わり、急勾配の山道に変わりました。子の権現までは、ここから上りばかりで約35分です。そして、標高640メートルの子の権現が、今回のコースの最高地点で、そこからは、多少アップダウンがあるものの、基本的には下るだけ。





うどんが頭から離れない？

最初に現れた階段で息があがりましたが、ちょっと休んでゆっくり歩いていけばきついコースではありません。むしろ、久しぶりの山道を楽しみながら上るのですが、しばらくすると、やはり、“早く着かないかな”なんて思ってみたり…。山道を約30分、車道に出ます。車道を歩いて、車道を横切ったところにある急勾配の山道でも、子の権現に行くことができます。さて、どちらにしようか？車道は緩やかに上るため大きく回り込んでいてとても遠回りに見えたので、急勾配の近道を選択しました。



5分足らずで子の権現に到着、時刻は、11時30分。すぐに目に入ったのは参道のお土産屋。これといったものは売っていないのですが、“うどん、そば”の文字。さっきの浅見茶屋の影響でしょうか？とりあえず、子の権現の境内に入っていきます。山門をくぐると両側に真っ赤な仁王像がにらんでいます。1998年10月、伊豆ヶ岳の帰りに立ち寄った時にもいたはずですが、それより、鉄の大わらじが印象的で記憶に残っています。



す。とりあえず、その大わらじまで行き、記念撮影をします。そして、大わらじの前でお弁当をひろげようと思ったのですが、冷たい風が吹いてきます。風の来ない場所となるとお寺の建物の入口付近で不謹慎ということで、せっかくだから(?)参道のうどん屋で温かいものでも食べましょとなりしました。足早に引き返し、うどん屋の狭い座敷に上がり込みそれぞれそばやうどんを注文し、さらに、早々缶ビールで乾杯します。そばやうどんが出来上がるまで、持参したお弁当をつまみます。茶店のこんな利用もわるくないな。秩父札所巡りのときもこんなことがあったことを思い出しました。2000年7月、28番橋立堂の食堂で地ビールを注文したら「お弁当、ここで食べていいよ」となり、しかも、トマトまで出してもらって。でも、帰りに小野さんがたくさんお土産を買って自宅へ宅急便で送ったのでした。注文したものが出てくるとひとつ多かったり、さらにお勘定も、“どんぶり勘定”で缶ビール(小野さんは飲まなかった)がひとつ余計に取られそうになったり…。悪気はなく、おらかというかちょっとボケているというか？商売っ気がないのかな？





遠いバス停

子ノ権現を出発したのは、12時30分過ぎでした。すぐに、伊豆ヶ岳方面との分岐があり、竹寺への左の道を進みます。緩やかに下りながら、時々現れる上りの道も苦痛を感じることなく約40分、豆口峠に到着。ここで、一休み。ここから竹寺までは、ガイドブックでは40分、駅でもらったパンフレットでは25分となっています。



豆口峠から約20分、分岐がありました。上へ向かう道と下へ向かう道。どちらも竹寺に行くのですが、下は“近道5分”と書かれています。ガイドブックを見ると“右の尾根を歩くコースの方が展望台を通るのでおもしろい”となっています。が、みんな近道の下へのコースを選択しました。5分ということはないと感じたのですが、間もなく竹寺が見えてきました。その



すぐ手前に“小殿バス停”への分岐があり、「こっちじゃないの?」「竹寺を見てから行きましょう」町田としては、竹寺の竹林がどんなものか興味があったのですが、みんなはそろそろ疲れてきたようです。

思ったよりも広々とした境内で一休みして、バス停へ向かいます。竹寺の中に入るとバス停はすぐ近くにありそうな気がするのですが、ここの標高は490メートルと意外に高く、約40分山を下らなければなりません。しかも、最初に少し上ってから。まあ、あと一踏ん張りとかきらめて歩き出しました。上りはたいしたことはないのですが、下りは結構急坂、淡々と山を下りていきます。やがて、太陽を反射する川面が見えてきましたが、なかなか着きません。道路が確認できるようになり、ようやく、下り終えて車道を左に行くとすぐに小殿バス停がありました。



素敵な小学生たち

バスが来るまで20分、町田は近くの酒屋で地酒のしぼりたて原酒を購入しみんなで飲みます。ここから東飯能駅までバスで50分近くかかりますから、残りはバスの中で楽しもうと思ったのですが…。道の反対側の右手から小学生の集団下校。「まさか、バスに乗らないよな」ところが、バス停手前の横断歩道で二手に分かれ、両側のバス停に整列しました。反対側のバス停に十数人、こちらのバス停には30人近くの子どもたちが。バスに乗らないのは2人だけ!「これじゃぁ飲めないね」6年生の女の子2人がリーダーとなり、下級生の面倒をしっかり見えています。バスに乗り込み、見知らぬおじさんが(おじいさんかも)下級生に話しかけるのに厳しい視線を送りつつ、どのバス停で誰が降りるのか把握して一生懸命誘導していました。しばらくすると小学生達はみんなバスから降りていきました。田舎に古き良き時代を見せられた気分であっという間。東飯能駅から帰りました。





町田行弘	229-1103	神奈川県相模原市橋本 5-29-12 メゾン・アン・ソレイユ 201 042-773-7415
小野勝彦	194-0041	東京都町田市玉川学園 8-22-2 042-725-8403
加藤忠	194-0033	東京都町田市木曽町 651-1 市営 1-201 042-727-8949
宮部忠和	192-0363	東京都八王子市別所 1-103-15 0426-78-0666
板垣実	194-0032	東京都町田市本町田 2577 ホ -22-101 042-793-1271
加々井悦朗	194-0043	東京都町田市成瀬台 3-11-7 042-727-0546

